

売上収益

2,900億円 前期比 **0.5%増**

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、腎細胞がん、胃がん、頭頸部がんでの使用拡大を見込むものの、昨年11月の薬価見直しの影響や肺がんでの新規使用患者数の減少から、売上は850億円(前期比56億円の減少)の見込みです。一方、ロイヤルティ収入の増加などから、通期の売上収益は前期比14億円(0.5%)増の2,900億円を予想しています。

営業利益

670億円 前期比 **8.0%増**

売上原価は、前期に発生した一時的な負担金当期には発生しないことなどから68億円減少する見込みです。一方、持続的成長のための研究開発費の増加、新製品やオブジーボ関連の活動経費の増加に伴う販売費及び一般管理費の増加を見込んでいることから、通期の営業利益は前期比50億円(8.0%)増の670億円を予想しています。

税引前当期利益

700億円 前期比 **7.5%増**

金融収支は前期比1億円減少の30億円を見込んでおり、通期の税引前当期利益は前期比49億円(7.5%)増の700億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

530億円 前期比 **2.8%増**

税引前当期利益が増加を見込む一方で、試験研究費の税額控除額の減少に伴う法人税の増加を見込んでおり、通期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比15億円(2.8%)増の530億円を予想しています。